

東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第763号

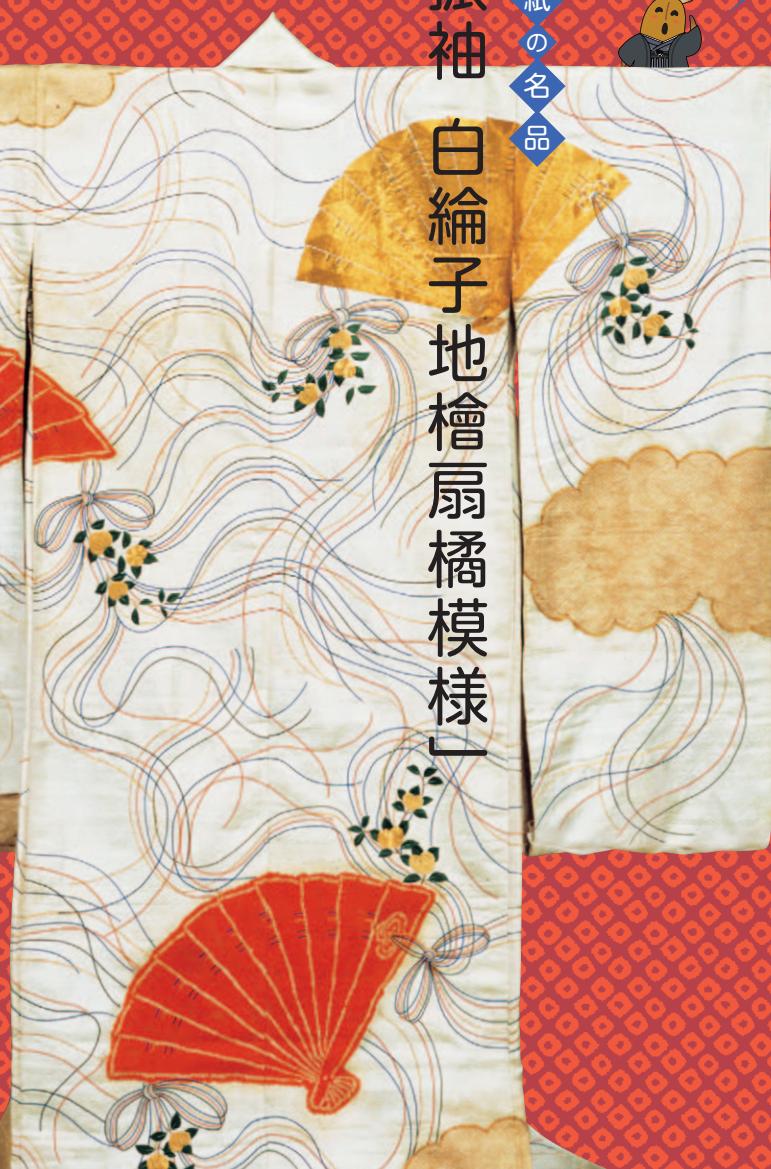
2020-2021
12・1・2



「振袖 白綸子地檜扇橘模様」

表紙の
名品

裏表紙に
掲載してるほ!



特別展 Information

「特別展 日本のたてももの
——自然素材を活かす伝統の技と知恵」

「特別展 国宝 鳥獣戯画のすべて」

「特別展 国宝 聖林寺十一面観音
——三輪山信仰のみほとけ」

「聖徳太子1400年遠忌記念 特別展
聖徳太子と法隆寺」…… 2～3

「博物館に初もうで」…… 4

「特集 世界と出会った江戸美術」

「特集 珠玉の中国彫刻」…… 5

総合文化展 Pick Up!

(本館/東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館) …… 6～7

トーハクの調査研究⑩ …… 7

本館展示案内(2階:日本美術の流れ、1階:ジャンル別展示) …… 8～11

本号のトピック …… 11 /みどりのライオン(教育普及事業) …… 12

親と子のギャラリー「まるごと体験!日本の文化」 …… 13

イベント&インフォメーション …… 14～15

特別展「日本のたてもの」 — 自然素材を活かす伝統の技と知恵 —

表慶館 12月24日(土)～2021年2月21日(日)

古代から伝統的な建造物を建築する際、その形態や技法、空間構成などを検討するために、建築模型を活用することがあります。本展で展示される建築模型の多くは、近代以降、文化財建造物修理事業の一環で製作したものです。これらは1/10サイズでありながら、細部まで精巧につくり込まれています。これまで鑑賞に供される機会の少なかった建築模型が一堂に会するまたとない展覧会が、「日本博*」で実現します。日本の建築美をぜひご堪能ください。
*日本博の詳細はウェブサイト(<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp/>)をご覧ください。



今西家住宅1/10模型 (原建物:重要文化財/江戸時代)
昭和46年(1971) 国立歴史民俗博物館蔵
慶安3年(1650)に建てられた城郭建築のように豪壮な寺内町今井の町家建築。解体修理の成果により昭和46年に製作されました



石山寺多宝塔1/10模型
(原建物:国宝/鎌倉時代)
昭和38年(1963)
密教の導入と共に登場した多宝塔。1964年当館で開催された「日本古美術展」出品作です



法隆寺五重塔1/10模型
(原建物:国宝/飛鳥時代)
昭和7年(1932)
文化財選定保存技術保持者で、法隆寺大工棟梁として有名な西岡常一が製作しました

* 東京国立博物館ニュース2020年4-5月号、9-11月号でご紹介しました。国宝 観智院客殿1/10模型、国宝 正倉院正倉1/10模型は不出品となりました。

観覧料：一般1,500円、大学生1,000円、高校生600円 *事前予約(日時指定券)が必要です。展覧会公式サイト等でご確認ください。/展覧会公式サイト<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/>

特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」

平成館特別展示室 2021年4月13日(火)～5月30日(日)

鳥獣戯画は兎や猿、蛙などが登場する有名な甲巻とともに、動物図鑑のような乙巻、人物と動物がそれぞれ登場する丙巻、人物を中心とした丁巻の4巻からなります。各巻は制作年代も絵のスタイルも異なりますが、本展では史上初、国宝 鳥獣戯画全4巻の全場面を巻き替えなしで一挙公開します。全長44m 強の画面を一気に見ることで、これまでご覧になられた方でも鳥獣戯画の新たな魅力を発見することができるでしょう。また、鳥獣戯画からわかれた断簡や、既に失われた場面を写した模本の数々もご紹介します。

加えて本展では、鳥獣戯画が伝わった京都・高山寺中興の祖・明恵上人ゆかりの文化財もご紹介します。生涯にわたって記された夢の記録、夢記をはじめ、高山寺でも非公開の重要文化財 明恵上人坐像は28年ぶりに寺外での拝観がかないます。

盛り沢山の内容でお届けする、またとない機会です。

(土屋貴裕)

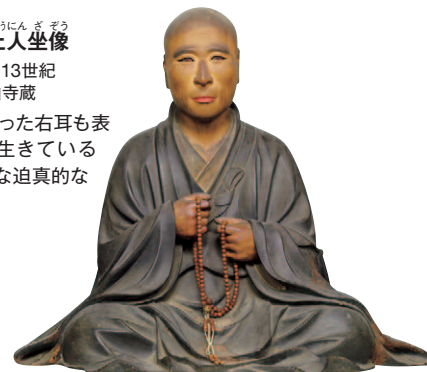


鳥獣戯画断簡 (MIHO MUSEUM 本)

平安時代・12世紀 滋賀・MIHO MUSEUM蔵
甲巻からわかれた場面です。動物や秋草の表現も甲巻と一致します

◎明恵上人坐像

鎌倉時代・13世紀
京都・高山寺蔵
紀州で切った右耳も表現され、生きているかのような迫真的な表現です



◎鳥獣戯画 甲巻 平安時代・12世紀 京都・高山寺蔵

法会を行った猿に対し、供物の鹿と猪を、兎と蛙が引きつけてくる場面です



(部分)

特別展

こくほう しょうりん じじゅういちめんかんのん
「国宝 聖林寺十一面観音」
 みわやましんこう
 —三輪山信仰のみほとけ—

本館特別5室 2021年6月22日(火)～9月12日(日)

聖林寺の国宝 十一面観音菩薩立像は、三輪山のふもとの大神神社境内にあった寺に安置されていました。この神社は山が御神体で、鳥居の向こうに山があり、足を踏み入れることができません(一部入れる道があります)。境内には山を拝む拝殿や、寺が江戸時代までありましたが、明治政府が発した神仏分離令によって仏教色は除かれることになり、十一面観音菩薩立像は聖林寺に移されたのです。この時、現在法隆寺にある地蔵菩薩立像等も一緒にこの寺を出しました。像は大切に運ばれたようで、本体、台座はほぼつくられた時のままです。

この展覧会では、明治元年(1868)に離散した像をおよそ150年ぶりに一堂に並べます。さらに、大神神社境内から出土した仏教伝来以前の信仰を物語る土で作られた酒造用具のミニチュアなども展示し、日本古代の人々の信仰に触れていただきます。展示する十一面観音菩薩立像は奈良時代、地蔵菩薩立像は平安時代初期の日本屈指の素晴らしい彫像です。(浅見龍介)



●地蔵菩薩立像
 平安時代・9世紀 奈良・法隆寺蔵
 像が立つ台座まで太い1本の丸太から削り出したものです。その重厚さに圧倒されます



やまのかみいせきしつどひん
 山ノ神遺跡出土品 古墳時代・5～6世紀 奈良県桜井市山ノ神遺跡出土
 杵、臼、箕(脱穀したモミを分ける道具)、柄杓など酒造用具のミニチュアが揃って出土しました



●十一面観音菩薩立像 (部分)
 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵
 木を芯に、ペースト状の素材を盛り上げてつくっています。布の表現がみごとです

しょうとくたいし 1400ねんえんき 特別展
「聖徳太子と法隆寺」

平成館特別展示室 2021年7月13日(火)～9月5日(日)

西暦622年に聖徳太子(574～622)がお亡くなりになってから、1400年遠忌という記念の年、奈良国立博物館と当館では聖徳太子の偉業と法隆寺の美術を紹介する特別展を開催いたします。

聖徳太子は日本文化に仏教の思想を積極的に取り入れるとともに、冠位十二階や憲法十七条、遣隋使などを通じて、以降の歴史の礎となる事業を推し進めました。

偉大な太子に対する尊崇はやがて太子信仰を生み、これは日本仏教の大きな特色として現代にまで連綿と引き継がれています。

歴史に燦然と輝く法隆寺ゆかりの宝物が一堂に会する本展は、1400年という遙かなる時をこえて、聖徳太子に多くの人々が心を寄せる絶好の機会となることでしょう。(三田覚之)



●聖徳太子坐像(聖徳太子および侍者像のうち)
 平安時代・保安2年(1121) 法隆寺蔵
 森厳な面差しが印象的な聖霊院の秘仏本尊。500年遠忌に際して制作された記念碑的な尊像です

なむぶつしゃり
 南無仏舍利

容器は南北朝時代・貞和4年(1348) 法隆寺蔵
 2歳となった聖徳太子が「南無仏」と唱えた時、手からこぼれ落ちたという仏舍利です



写真提供/小学館



●阿彌陀三尊像(伝橋夫人念持仏)
 飛鳥時代・7～8世紀 法隆寺蔵
 光明皇后の母の遺品と伝わる仏像。やわらかな微笑みを湛えた阿彌陀三尊像は、古代金銅仏中随一の傑作です

トーハクで祝う、日本のお正月

博物館に初もうで

2021年1月2日(土)～1月31日(日)

新年恒例の「博物館に初もうで」も、今年で18年目を迎えます。
干支や吉祥にまつわる展示と和太鼓や獅子舞も
お楽しみいただけるトーハクのお正月。ぜひ美しい日本の文化にふれ、
心豊かな新年のスタートをお迎えください。

2021年もよろしく
お願いします。

ユリノキ
ちゃん

トーハクくん



今年は 事前予約制

入館はオンラインによる事前予約(日時指定券)制としております。1月2日(土)、3日(日)限定で当日のみ有効の日時指定券(9:30～12:30、12:30～16:30、16:30～20:30*(*1月2日のみ))を若干枚数、正門にてお配りいたします。ただし、開館後早々に予定枚数が終了となることが予想されます。配布終了後、「日時指定券」をお持ちでない方はご入場いただけません。
※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

思いがけない縁がうまれる!?

特集「博物館に初もうで ウシにひかれてトーハクまいり」

本館特別1室・特別2室

力強く従順で、人の営みを傍らで支え続けてきた牛。平安時代には貴族の生活と密着して牛車の文化を育み、また時には神の乗り物や仏教における悟りの象徴ともみなされました。この特集では、そんな牛にまつわる豊かな歴史と文化をご覧ください。

ちょっと風変わりなタイトルは、「牛に引かれて善光寺参り」という諺をもとにしたもの。「身近に起こった出来事に導かれて、思いがけない縁が結ばれること」の例えです。こんな状況だからこそ、展示作品との思いがけない出会いを通して、改めてトーハクと縁を結んでいただきたい。そんな想いが込められています。ぜひ展示室で、さまざまな表情を見せる牛たちにご対面ください。(高橋真作)



駿牛図断簡 鎌倉時代・13世紀

後ろを振り返る優美な牛の姿は、さながら「見返り美牛図」です



片輪車蒔絵螺鈿手箱

平安時代・12世紀
牛車の車輪を川に浸した情景。王朝文化を象徴するモチーフです



阿弥陀如来
および両脇侍立像
(善光寺式)

鎌倉時代・建長6年(1254)
牛に引かれてたどり着いた先は善光寺。その秘仏本尊を模した像です



袱紗 淡紅縹子地騎牛笛吹童子図

江戸時代・18～19世紀 アンリー夫人寄贈
童子は牛(悟り)を飼い慣らせるのか? 奥深いテーマを華やかに描きます

新春イベント

催し物

会場: 平成館前庭 ※各30分程度

2021年1月2日(土)

和太鼓 湯島天神白梅太鼓 10:00～11:30
獅子舞 葛西囃子中村社中 13:00～14:30

2021年1月3日(日)

獅子舞 葛西囃子中村社中 10:00～11:30
和太鼓 湯島天神白梅太鼓 13:00～14:30

TNM & TOPPAN

ミュージアムシアターよりプレゼント

2021年1月2日(土)、3日(日)

VR作品を鑑賞された方にはプレゼントがあります。
※鑑賞には別途料金および当日の予約が必要です。
※コンテンツ等の詳細はウェブサイト
(<http://www.toppa-vr.jp/mt/>) をご覧ください。

ミュージアムショップからお年玉

2021年1月2日(土)、3日(日)

当館の全ミュージアムショップで合計3,000円(税込)以上お買い上げのお客様にミュージアムショップのグッズをプレゼントします。(両日ともなくなり次第終了。当館の全ミュージアムショップでのお買い物が対象、引き渡しは本館ミュージアムショップでのみ対応) ※例年行っておりました美術図書バーゲンセールは、今回中止といたします。

ホテルオークラレストラン ゆりの木では割引を実施

2021年1月2日(土)、3日(日)

ゆりの木で税込4,000円以上ご利用のお客様は、お会計から10%分をお引きいたします。

寛永寺根本中堂特別参拝

2021年1月2日(土)、3日(日) 10:00～15:00
根本中堂、四天王像などを公開いたします。

※混雑緩和のため、例年1月2日、3日に実施しておりましたカレンダーの配布および先着順の特典はございません。あらかじめご了承ください。

西洋画風の「忠臣蔵」

南国バタビアを描いた洋書の挿絵を、国芳は忠臣蔵の吉良邸討入りのシーンにリメイクしました



忠臣蔵十一段目夜討之図

歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
展示期間：12月15日(火)～2021年1月11日(月・祝)



◎悲しみの聖母(親指のマリア)
イタリア 17世紀後期 長崎奉行所旧蔵品

キリスト教禁制下に持ち込まれた聖母像

鎖国下の日本に潜入した宣教師シドッチが携えていた聖母像



贅を尽くした華麗なる交易品

輸出用につくられた聖書を置く台。螺鈿が多用され、華やかな趣があります

IHS七宝繫
蒔絵螺鈿書見台
安土桃山～江戸時代・16～17世紀

国外との自由な往来が禁止されていた江戸時代。しかし、厳しい制約のなかでも、日本とヨーロッパの間を多くの交易品が行き来し、異国の技術や表現に学んだ美術工芸品が双方の地で誕生しました。
当館は、南蛮漆器や洋風画、輸出陶磁器のほか、長崎奉行所旧蔵キリシタン遺物、紅葉山文庫や蕃書調所などの幕府関連施設の伝来品といった歴史的に重要な資料を収蔵しています。本特集では、江戸時代における東西交流の様相を伝える所蔵品および寄託品を紹介します。世界中で移動が困難な状態にある現在、改めて江戸時代の人々に思いを馳せ、海外に対する憧れを自国の文化、美術に取り入れた歴史を振り返っていただければ幸いです。(鷲頭桂)

特集 世界と出会った江戸美術

平成館企画展示室 11月25日(水) ↓ 2021年1月11日(月・祝)

長安で流行したメリハリボディの唐彫刻

メリハリのある肉体と柔らかな衣の表現が調和した逸品です

如来坐像
中国 唐時代・8世紀



曲線美を引き立たせる鮮やかな衣装

右手に小鳥を止まらせる優雅な女性像。美しいたざまいに注目です

三彩女子
中国 唐時代・8世紀
鈴木榮一氏寄贈



墓に埋葬された人形の俑や墓を守る石人、仏教伝来後の仏像、仏像に影響を受けた道教像。中国彫刻の歴史をひも解くと、その多様さに歴史の重みを感じます。こうした中国彫刻の多くは、中国で古来よりなじみのある石や玉などの素材でつくられてきました。大理石、石灰岩、砂岩、黄華石など、種類が多様なことも中国彫刻の特徴といえます。
本特集では、これまで展示される機会が少なかった館蔵品の中国彫刻のなから小品を中心に紹介し、墓から出土した俑も展示します。また、本特集は東洋館1室「中国の仏像」と関連した内容としています。東洋館の名品もあわせてご覧いただき、中国彫刻の多様で奥深い世界を楽しんでいただければ幸いです。(増田政史)

釈迦の名場面を辿り、思いを馳せる

美しい大理石製の台座。側面に釈迦の生涯の4つの場面が表されています

龍樹思惟像台座
中国 北齊時代・天保10年(559)



特集 珠玉の中国彫刻

本館14室 12月1日(火) ↓ 2021年2月21日(日)

Pick up!

本館

鶏のバリエーションは
観察眼の賜物

松梅群鶏図屏風

7室 屏風と襖絵—安土桃山〜江戸
12月15日(火)〜2021年1月24日(日)



松梅群鶏図屏風 伊藤若冲筆 江戸時代・18世紀 (右隻)

18世紀に京都で活躍した伊藤若冲は、自分の庭で飼っていた鶏をつぶさに写生し、多くの鶏図を描いたことで知られています。松や梅とともに鶏を描いたおめでたい画題である本作でも、正面向きや後ろ向き、立ったり座ったりなど、さまざまな姿態の鶏を表情豊かに描き分けています。左隻には小さなひよこも描かれています。色彩も多少入れています。墨の濃淡や滲み、ぼかし、擦れといったバリエーションに富んだ表現を使い分けているのがわかります。工房作も含めての検討がなされていますが、ここでは、さまざまな鶏の表現をお楽しみいただければと思います。(大橋美織)

本館

新年にふさわしい
吉祥文様づくし

蓬萊鏡

13室 金工
12月15日(火)〜2021年3月21日(日)



蓬萊鏡 江戸時代・18〜19世紀

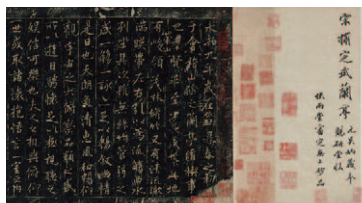
鑄銅製の鏡です。背面には亀形の鈕(つまみ)を中心に、くちばしを接する鶴、背景に州浜と流水、松、竹、梅を表しています。この図柄は「蓬萊」と呼びならわされ、日本では13世紀ごろから鏡の文様としてよく表されました。蓬萊とはもともと、古代中国で仙人が住むとされた理想郷のことです。ただし通例のモチーフのほか、ここでは雛や小亀を登場させるなど、アレンジも加えられています。長寿や子宝を象徴するために文様づくしは、あるいは婚礼調度であったのかもしれない。縁が高く、分厚く重く、地をくぼめて文様を立体的に表す点が時代性を示しています。(伊藤信二)

東洋館

特集「清朝書画コレクションの
諸相」より

定武蘭亭序(呉炳本)

8室 中国の絵画・書跡
2021年1月2日(土)〜2月28日(日)



定武蘭亭序(呉炳本) 王羲之筆 中国 (部分) 東晋時代・永和9年(353) 高島菊次郎氏寄贈

清朝の皇帝や富裕層が収蔵した書画の名品は、辛亥革命(1911〜12)を機に日本にも流入し、質の高いコレクションが築かれました。王子製紙社長を務めた実業家の高島槐安氏(菊次郎、1875〜1969)のコレクションもそのひとつ。収集された書画には、歴代の所蔵者や鑑賞者が添えた文章や印がみられます。なかでも「蘭亭序」の宋時代の拓本を収めた本作品には、元の呉炳や倪瓚、明の沈周、清の王文治ら、書画の名家たちが題跋や鑑蔵印を添え、古色蒼然とした拓本の字姿が、古来、珍重されてきたことがわかります。中国書画のコレクションをテーマとした台東区立書道博物館との連携企画第18弾です。(六人部克典)

東洋館

技巧をこらした
豊かな彩に注目

楼阁山水人物螺鈿合子

9室 中国の漆工
12月15日(火)〜2021年3月14日(日)



楼阁山水人物螺鈿合子 中国 元時代・14世紀

中国の元時代の螺鈿には、漆器の表面に貝片で絵面を表したような作品が制作されるようになりました。ここに紹介する合子は、蓋表の中央の丸い画面に、趣味のよい住居の庭で飲食をする男性の姿を中心にしてのびやかな山景が表されています。合子の肩や腰に当たる部分には、蓮の花が咲く池で水鳥たちが遊ぶ情景が、合子の側面には、同じ池の中かと思われる藻の茂った水中で魚や海老が泳ぐ情景が表されています。螺鈿漆器には黒や赤の漆器に白い貝片が輝くモノトーン調の作品が多いのですが、この作品は金箔や朱や緑の色漆が補われているのでカラフルな趣となっています。(猪熊兼樹)



平成館

日本最古の流通貨幣

和同開珎

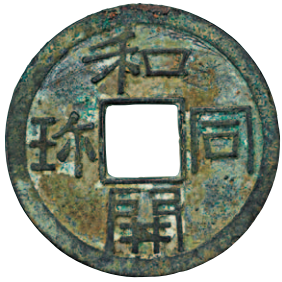
通年展示

考古展示室

和同開珎（「わどうかいほう」とも読みます）は日本で最初の鑄造貨幣として有名です。「続日本紀」には、和銅元年（708）に武蔵国秩父郡の銅が献上されたことがきっかけで鑄造されることになったとされます。

しかし、近年の発掘調査などによって、富本銭が7世紀後半に作られた日本の最初の銅銭であることが分かりました。一方、富本銭は厭勝銭（おまじない用）としてつくられたという説もあり、和同開珎が交易や流通を目的につくられた最初の銅銭であることは確かかなようです。

近年、キャッシュレス決済が身近になってきましたが、その原点に想いを馳せてみてはいかがでしょう。



（井出浩正）

和同開珎

奈良時代・8世紀
滋賀県大津市崇福寺跡出土

法隆寺宝物館

70もの事績が描かれる
緻密な画面構成

重文 聖徳太子絵伝

2021年1月2日（土）～1月31日（日）

第6室 絵画―聖徳太子絵伝―



（部分）

◎聖徳太子絵伝
上野法橋・但馬房筆
鎌倉時代・嘉元3年(1305)

日本で仏教が広まる基礎をつくり、冠位十二階、憲法十七条の制定、遣隋使の派遣などで知られる聖徳太子。後世、彼自身が信仰の対象ともなり、その生涯を描いた絵伝が盛んに描かれました。

本作品は延久元年（1069）作の国宝 聖徳太子絵伝に次ぐ古い作例です。第1面は梅・桜で春、第2面は藤で夏、第3面は紅葉で秋、第4面は雪山・枯木で冬、と季節を象徴する景物を描いて、各面を四季に振りわけ、全体で70余りのエピソードを、それが行われた季節に分類して描いているのが大きな特徴です。中世におけるひとつの規範となったことが指摘されている重要な作例です。

（沖松健次郎）

黒田記念館

黒田の最期を予感させる1枚

梅林

12月1日（火）～2021年2月28日（日）

黒田記念室

明治期の画壇を牽引した洋画家、黒田清輝は、1923年に狭心症を発し、麻布笄町の別邸で療養生活を送ることになります。別邸の病室からは、本作に描かれたと思われる老梅が見えたといわれています。

闘病中ということもあり、老梅の筆致は荒く、丁寧ではありません。しかし、本作では最期まで筆を握り、西洋絵画を日本に根付かせようと奮闘しながらも、道半ばで病に倒れた黒田の悔しさや執念が劇的に表されています。1924年7月15日、黒田は58歳で死去し、本作は絶筆となりました。

（東京文化財研究所・野城今日子）



梅林

黒田清輝筆 大正13年(1924)

トーハクの調査研究 ⑩

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

博物館の防災・減災

―災害にいかに備えるべきか―

切迫する首都直下地震、あるいは気候変動による風水害の激甚化や頻発化が指摘されて久しいですが、防災・減災は博物館にとっても重要な使命であり、社会的責任のひとつといえるでしょう。現在、文化財防災ネットワーク推進事業の一環として、国内外の博物館で実施されている防災対策について調査し、技術的課題の検討を進めています。例えば、バリのルーヴル美術館ではセーヌ川の氾濫に備えた洪水防御計画の策定とその実践が進められており、この計画に従って、近年も作品の緊急避難や臨時休館が実施されました。風水害が多発する日本においても学ぶべき点が多々あります。

（黄川田翔）



ルーヴル美術館との打合せの様子(2020年2月撮影)

*東京国立博物館ニュース第759号2020年2-3月号で紹介しています。本年10月には、独立行政法人国立文化財機構内に「文化財防災センター」が設置されました。

4

茶の美術

2021/1/31 ㊤

赤楽島台茶碗
あからくしまだいちゃわん
旦入作 江戸時代・19世紀 横河氏輔氏寄贈
正月茶会(初釜)の濃茶茶碗として好まれる、重ね茶碗です

2021/2/2 ㊤-4/25 ㊤

竹一重切花入 銘 圓城寺
たけいちじゅうぎりはなれ めい かんじょう じ
伝千利休作 安土桃山時代・天正18年(1590) 松平直亮氏寄贈

3-3

禅と水墨画
鎌倉〜室町

2021/1/2 ㊤-1/31 ㊤

花鳥図屏風
かちょうずびょうぶ
「朝隠」印 室町時代・16世紀
華やかな彩色で描かれた吉祥の花や鳥。様式美の極致を示す名品です

2021/2/2 ㊤-3/14 ㊤

梅下寿老図
ばいかじゅうろうず
伝雲舟等楊筆 室町時代・15世紀



3-2

宮廷の美術
平安〜室町

2021/1/2 ㊤-1/17 ㊤ (画像右上)

古今和歌集(元永本)下帖
ここんわかしゅう げんえいほん げじょう
平安時代・12世紀 三井高大氏寄贈

2021/1/2 ㊤-1/31 ㊤

松園屏風
まつずりょうぶ
伝土佐光信筆 室町時代・16世紀

2021/2/2 ㊤-3/14 ㊤ (画像右下)

星光寺縁起絵巻 巻上
せいこうじえんぎ えまき まるじょう
室町時代・15世紀
僧侶の姿に変身して屋根を修理してくれた、お地藏様のありがたい話を描きます

3-1

仏教の美術
平安〜室町

2021/1/2 ㊤-1/31 ㊤

虚空蔵菩薩像
こくうぞうぼさつぞう
鎌倉時代・13世紀 武藤山治氏寄贈
力強さと華やかさが魅力の仏画です

2021/2/2 ㊤-3/14 ㊤

仏涅槃図
ぶつねはんず
平安時代・12世紀

1-1

2021/1/2 ㊤-6/27 ㊤

突線紐4式銅鐻
とつせんじゆしきどうく
弥生時代(後期)・1~3世紀
三重県伊賀市柏尾湯舟出土
大型化して装飾性が増した、見せるための銅鐻です

日本美術のあけぼの
縄文・弥生・古墳

埴輪 猿
はにわ ざる
古墳時代・6世紀
伝茨城県行方市大日塚古墳出土

1-2

-12/20 ㊤

観音菩薩立像
かんのん ぼさつりゅうぞう
飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈

2021/4/25 ㊤

興福寺鎮壇具延金
こうふくじちんだんぐのべきん
奈良時代・8世紀 奈良市興福寺中金堂須壇下出土
地の神に興福寺が長らえることを願い、中金堂地下に埋めた財宝のひとつです

2

国宝室

2021/1/2 ㊤-1/17 ㊤


松林図屏風
しょうりんずびょうぶ
長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀
当館のお正月といえばこの作品! 絶妙な空気感をご体感ください

2021/1/19 ㊤-2/14 ㊤

千手観音像
せんじゆかんのんぞう
平安時代・12世紀

※展示環境改善等のため、本館2階は12月21日(月)~2021年1月1日(金・祝)まで閉室します。 ※㊤は新年の訪れを祝して選定した吉祥作品です。

12/15(火)-2021/1/24(日)
松梅群鶏図屏風
 伊藤若冲 江戸時代・18世紀
 「鶏の画家」として知られる若冲。さまざまな鶏の描き分けに注目です(→6ページ)



(右隻)

2021/1/26(火)-3/7(日)
楼閣山水図屏風
 池大雅筆 江戸時代・18世紀
 團伊能氏寄贈
 憧れの中国の景勝地を、伸びやかな線と明るい色彩で描き出した大雅40代の傑作です



(右隻)

7
 屏風と襖絵
 安土桃山・江戸

2021/1/2(土)-4/11(日)
裡烏糸肩赤威胴丸
 陸奥三春藩主秋田家伝来 室町時代・15世紀
 秋田一季氏寄贈
 陸奥国三春藩主秋田家に伝来した甲冑。豪華な装飾に注目してください



5・6
 武士の装い
 平安〜江戸

2021/1/13(水)-4/18(日)
短刀 相州行光
 鎌倉時代・14世紀



-2021/1/24(日)
色絵椿松竹梅文透入重蓋物
 京焼 江戸時代・18世紀



2021/1/26(火)-4/25(日)
波千鳥蒔絵提重
 永田友治作 江戸時代・18世紀
 西脇健治氏寄贈
 平蒔絵で描く波に大きな千鳥。蓋を開けると、重箱の華やかな文様が現れます



8-1
 喜らしの調度
 安土桃山・江戸

12/15(火)-2021/1/24(日)
龍虎二大字
 後陽成天皇筆 安土桃山時代・16~17世紀
 「易経」の「龍吟すれば雲起こり、虎嘯けば風生ず」を想起させるような、雄壮な書風が見所です



2021/1/26(火)-3/7(日)
葡萄図
 立原杏所筆 江戸時代・天保6年(1835)
 お酒を飲んで描いた、強く激しい筆さばきによるダイナミックな葡萄図です



8-2
 書画の展開
 安土桃山・江戸



-12/20(日)
能面 顰
 「元休打」朱書 江戸時代・17~18世紀



9
 能と歌舞伎

2021/1/2(土)-2/28(日)
唐織 紅白段牡丹若松孔雀羽模様
 上杉家伝来 江戸時代・18世紀
 富貴の牡丹、変わらぬ若さの若松、百鳥の王とされる孔雀、吉祥尽くしの模様です



浮世絵
2021/1/2(土)-1/31(日)
市川鯨蔵の竹村定之進
 東洲斎写案筆 江戸時代・寛政6年(1794)
 娘の身代わりとなって切腹する定之進。役者としての鯨蔵の風格が描き出されています



2021/2/2(火)-2/21(日)
東都名所・亀戸天満宮境内雪
 歌川広重筆 江戸時代・19世紀
 高橋寧氏寄贈
 亀戸天満宮の静かな雪景色を、ほかしを効果的に用いて描いています



衣装
-12/20(日)
小袖 納戸縮緬地 御簾几帳草模様の
 江戸時代・18世紀



10
 浮世絵と衣装
 江戸

2021/1/2(土)-2/28(日)
振袖 白綸子地 檜扇橋模様
 江戸時代・19世紀
 野口眞造氏寄贈
 王朝文化を思わせる檜扇模様を軽やかに散らした、若い女性の晴れ着です(→裏表紙)



15

歴史の記録

12/8(火)-2021/2/14(日)

特集「表慶館の建築図面」

ひょうけいかんかんせいよそうず
表慶館完成予想図

片山東熊・新家孝正 設計
明治35年(1902)11月
中央ドーム先端部分や欄間などの装飾は現存の表慶館とは異なり簡素なデザインです



2021/2/16(火)-4/11(日)

にほんえんかいよちすちゆうずちゆうぶきんき
◎日本沿海輿地図(中国) 中部・近畿

伊能忠敬作
江戸時代・19世紀
縮尺は21万6千分の1。本図は富士山の西側から神戸の御影付近までを描きます



14

特集(→5ページ)

12/1(火)-2021/2/21(日)

「珠玉の中国彫刻」



にょらいとうぶ
如来頭部
中国山西省天龍山石窟第18窟
唐時代・8世紀
根津嘉一郎氏寄贈

じゅういちめんくわんのかんぼさつりゆうぞう
◎十一面観音菩薩立像
中国 奈良・多武峯伝来
唐時代・7世紀
インド的な顔立ちの中国製の檀像。全身を白檀の一材から彫り出す絶技は必見です



15

14

13-3

13-2

13-1

11

12

案内 1階 展示

13-3

陶磁

-2021/2/14(日)

いろえびつばいすちやつぽ
◎色絵月梅図茶壺

仁清、「仁清」印 江戸時代・17世紀
華やかな紅白梅に大きな月。
さまざまな角度からお楽しみください



-2021/5/9(日)

いろえ ひほうもんりんか おおざら
◎色絵飛鳳文輪花大皿

伊万里 江戸時代・17世紀
山本富子氏・山本賢二氏寄贈

13-2

刀剣

12/1(火)-2021/2/28(日)

たち おさふねながみつ ごう たいはんやながみつ
◎太刀 長船長光(号 大般若長光)

鎌倉時代・13世紀
備前長船の名工長光の代表作。見どころは華やかな刃文と由来・伝来です



かな そうしゅうまさむね
◎刀 相州正宗

鎌倉時代・14世紀



11

彫刻

12/15(火)-2021/4/18(日)

せんじゆかんのんぼさつざう
◎千手観音菩薩坐像

南北朝時代・14世紀
光背は金属製で、繊細な透かし彫りの唐草文様や宝珠が華やかです



でんげんむしよりとも さぞう
◎伝源頼朝坐像

鎌倉時代・13~14世紀



12

漆工

12/1(火)-2021/3/7(日)

さぎょうちゆうまきえすずびこ
◎左義長蒔絵硯箱

伝本阿弥光悦作 江戸時代・17世紀
束ねた竹に扇などを付けて焼く小正月の火祭、左義長が主題の硯箱です



しゅうろしへいし
朱漆瓶子
室町時代・16世紀

13-1

金工

12/15(火)-2021/3/21(日)

ぼんらいりゆう
◎蓮菜鏡

江戸時代・18~19世紀

松に鶴亀という吉祥の主題を表した銅鏡。立体的な表現が時代性を示しています(→6ページ)



ずいか そうほうはちりゆうきよう
◎瑞花双鳳八稜鏡

平安時代・11~12世紀
空間を密に充填する文様構成は平安時代後期の八稜鏡の特色です

本号のトピック

東洋館地下1階

トーハクお正月の名品を題材にしたVR作品が TNM & TOPPANミュージアムシアターで公開中

TNM & TOPPANミュージアムシアターは東洋館地下1階にあり、2018年1月にリニューアルオープンをして3年が経とうとしています。これまでVR（バーチャルリアリティ）で当館の作品を中心とした文化財の美しさを存分に味わえる空間で、新しい鑑賞方法を体験していただいています。臨場感溢れる大迫力のVR映像をぜひご覧ください。

■VR作品「国宝 松林図屏風―乱世を生きた絵師・等伯―」 ～2021年1月17日(日)～

東京国立博物館所蔵の数ある国宝の中でも、安土桃山時代を代表する巨匠 長谷川等伯が描いた「松林図屏風」は極めて人気の高い作品です。また、一方で実は謎の多い作品でもあります。本VR作品では、等伯の画業の歩みを辿り、日本水墨画の最高傑作とも称される松林図屏風の魅力と謎に迫ります。



料金：一般・大学生・高校生600円、小学生・中学生300円、未就学児・障がい者とその介護者各1名は無料（1作品／1回あたり）、別途入館料が必要です。開演時間までにチケットをお買い求めください（当日券のみ）。

〔予告〕VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」 2021年1月20日(水)～4月11日(日)（予定）

※所要時間 各約35分です。
※演目・スケジュール・定員は、都合により変更となる場合がございます。
※2020年12月21日(月)～2021年1月1日(金・祝)は休演します。
※詳細はウェブサイト (<http://www.toppa-vr.jp/mt/>) をご覧ください。

本館各展示室

本館で吉祥作品をめぐるお正月はいかがでしょうか

本号8～11ページの「本館展示案内」では、吉祥をテーマにした作品やお正月らしい作品を選びご紹介しています。🍀がついた作品です。本館特別1室・2室で開催する「博物館に初もうで ウシにひかれてトーハクまいり」（本誌4ページ）とあわせてお楽しみください。

教育コンテンツ

教育オンラインコンテンツ専用ページができました

前号13ページでご紹介しました、教育オンラインページ「みどりのライオンオンライン」が当館ウェブサイト上に完成しました。新型コロナウイルスの影響により、博物館教育課で準備をしてきたさまざまなプログラムが中止となりましたが、この「みどりのライオン オンライン」では、「知るトーハク」、「見るトーハク」、「つくるトーハク」にわけていろいろなコンテンツをお楽しみいただけます。今後もコンテンツを増やしていきますので、ぜひご利用ください。



-2021/1/11(月)・祝

🍀 タマザシ

奄美大島 太(現大和)家伝来(オヤノ口関係資料)
第二尚氏時代：17～18世紀
長田須磨氏旧蔵 大和良子氏寄贈
ノロ(神女)の祭具、玉ハピルを収めた
赤漆塗・沈金で飾った丸櫃です



16

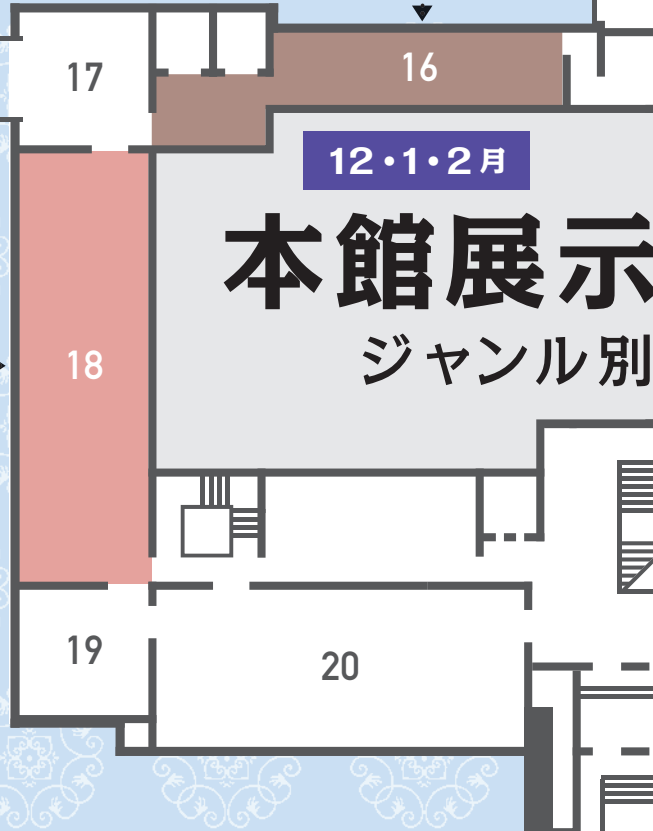
アイヌと琉球



2021/1/13(水)-4/11(日)

つりみてつなべ 吊耳鉄鍋

北海道アイヌ 19世紀
農商務省北海道事業管理局寄贈



18

近代の美術

12/1(火)-2021/2/14(日)

🍀 おうゆうさびえばいじゆずたいへい ◎黄釉錆絵梅樹図大瓶

初代宮川香山作 明治25年(1892)
シカゴ・コロンプス世界博覧会事務局



2021/1/2(土)-2/14(日)

🍀 よろぼし ◎弱法師

下村観山筆 大正4年(1915)
手向ける先の赤い落日に、俊徳丸は何を祈るのでしょうか

(部分)

みどりのライオン



※掲載されている催し物につきましては、今後、予告なく中止する場合がございます。当館ウェブサイト等でご確認ください。

お知らせ

講演会等を動画配信しています

新型コロナウイルス感染予防および拡散防止のため、今年度の月例講演会、ギャラリートークについては、YouTubeによる動画配信のみとなる予定です。対面での実施は当面見合わせますが、ご自宅等でお楽しみいただけるよう、動画を配信しています。



東京国立博物館
YouTubeチャンネル

オンライン

月例講演会

「自在置物の魅力」



講師：伊藤信二（博物館教育課長）
リアルさに加え、体の部位が自由に動かせる自在置物。当館所蔵品を中心に、その精巧なつくりや構造、動きをご紹介します。

自在龍置物 明珍宗察作
江戸時代・正徳3年(1713)
12月13日(日)まで
本館13室にて展示

「文化財と複製」

講師：小島有紀子
(文化財活用センター企画担当研究員)
「松林図屏風」「風神雷神図/夏秋草図屏風」「花下遊楽図屏風」などの複製制作の裏側をご紹介しますとともに、複製の役割や活用についてお話しします。



高精細複製品
国宝 花下遊楽図屏風(右隻)
2018年制作 失われた右隻中央を復元した画像です

オンライン

ギャラリートーク

「平安時代の書と紙」

講師：恵美千鶴子（百五十年史編纂室長）
平安時代には、美しく装飾された紙に、詩や和歌を揮毫した冊子や巻き物が贈り物としてつくられました。平安時代の書と紙の魅力をご紹介します。



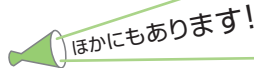
「調和の美 17世紀の茶陶の魅力」

講師：三笠景子（特別展室主任研究員）、
横山梓（保存修復室研究員）

17世紀、江戸時代の茶の湯のやきもの魅力について、「調和」をキーワードにさまざまな角度から迫ります。



黒楽茶碗 銘 かのこ斑
一入作 江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
展示予定はございません



充実の動画ラインナップ!

装飾古墳入門

装飾古墳についてご紹介するシリーズです。第1回「装飾古墳が誕生したのは筑紫君磐井の乱に負けたからなのか？」に続いて、4回にわたって河野研究員が解説します。九州のローカルな古墳文化とされてきた装飾古墳について、洞窟壁画と比較し、原始絵画の人類史という観点から捉え直します。



第2回のテーマは「装飾古墳が近畿に少ないのはローカルな文化だからなのか？」です。

特別展「きもの KIMONO」ギャラリートーク

2020年8月23日に閉幕した特別展「きもの KIMONO」。広報大使のIKKOさんと、本展を担当した小山研究員が、前期展示期間中の会場内を回りながら、展示作品をご紹介します。前期展示期間中に会場に来られなかった方にも、もう一度鑑賞したいという方にもお楽しみいただける内容です。



工芸室長・小山の解説と、きもの好きのIKKOさんのトークをお楽しみください。

※公開期限：2023年3月31日まで(予定)

連続講座

*諸事情によりイベント中止になった場合は、
展覧会公式サイト等でお知らせします。

特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」関連事業

*関連展示：本誌2ページ

事前申込制(当日受付なし)

連続講座 「鳥獣戯画研究の最前線」

鳥獣戯画といえば、日本美術の中でも抜群の知名度を誇る作品です。ただ、その成立や主題、制作目的などは謎に包まれています。本講座は、特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」の開催に合

わせ、本絵巻が伝わった高山寺の歴史を踏まえ、多角的な観点からこの謎多き絵巻の徹底解明に挑みます。

日時：2021年4月23日(金)・24日(土)の2日間(全6講)
13:00～17:00(開場は12:30を予定)

会場：平成館大講堂

※詳細が決まり次第、
展覧会公式サイト
等でお知らせします。



◎鳥獣戯画断簡 平安時代・12世紀

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL: 03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*は「ヒアリンググループ」対応のイベントです。

まるごと体験! 日本の文化

きもの、サムライ、浮世絵…「日本の文化」といって思い浮かぶものは、いろいろあります。子どもも大人も楽しめる体験型展示、親子のギャラリーの今回のテーマは「日本の文化」。当館のコレクションの中から「うるし」、「よろい」、「浮世絵」、「きもの」をとりあげ、デジタルコンテンツやぬりえなど、まるごと体験ができる参加型のコーナーにしました。体験してからほんものの作品を見に行っても、作品を見てから体験しても、日本の美術や文化をより深く楽しむことができます。 (藤田千織)

本館 特別4室
2021年
1月19日(火)～
2月28日(日)

うるし 2021年1月19日(火)～2月28日(日)

蒔絵の技法をデジタルコンテンツで体験!

ウルシノキの樹液を器の表面に塗り重ねて飾る「漆工芸」。中でも蒔絵という技法に注目したデジタルコンテンツを用いた体験コーナーです。



●八橋蒔絵螺鈿硯箱
尾形光琳作 江戸時代・18世紀
デジタルコンテンツでは、尾形光琳の代表作を題材にしています
※期間中、本作品の展示予定はありません

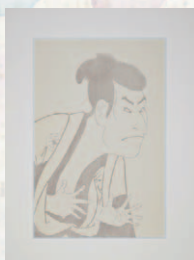


端末をタッチしてオリジナルの漆の箱をデザインできます

浮世絵 2021年1月19日(火)～2月28日(日)

重ね摺りのしくみに注目!

版を重ねる様子を展示し、現代に作られた色鮮やかな浮世絵版画が完成する過程をご覧ください。



最初は絵の輪郭から。これを主版といいます



きものは黄色い地に茶色の縞を重ねます



背景は「雲母」をのせた雲母摺りでメタリックに



完成です

よろい 2021年1月19日(火)～2月7日(日)

よろいの構造が細部までわかる!

会場ではよろいの着付け動画をで紹介しています。また、現代につくられたよろいの展示をご覧ください。



会場で流れる着付け動画でよろいの構造を知ることができます



近くで見るとパーツの違いがよくわかります



※会場ではよろいの着付け体験はできません。

きもの 2021年2月9日(火)～2月28日(日)

江戸時代のファッショントレンド発見!

江戸時代のきものファッション雑誌・雛形をモチーフにしたぬりえをお楽しみいただけます。



色の組み合わせを考へながらぬるのも楽しいです



雛形のぬりえで細かい模様やデザインの工夫を確認できます



手ぬぐいをプレゼント

SNSでも話題になった伊藤若冲自画自刻の「玄圃瑤華(げんぽようか)」をベースに制作したポスター右記デザインを手ぬぐいにしました。こちらを10名様にプレゼントします。締切は2021年3月10日(水)必着。

※画像はポスターデザインです。

※ポスター全6種は当館ウェブサイトにてご覧いただけます。



玄圃瑤華(鳳仙花)

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※手ぬぐいは1種類のみです。販売はしていません。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース12・1・2月号」プレゼント係

休館・閉室情報

12月22日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。

12月26日(土)~2021年1月1日(金・祝)は休館します。

また、展示環境改善等のため、展示室の一部を以下の通り閉館します。

法隆寺宝物館:11月30日(月)~2021年1月1日(金・祝)

本館2階:12月21日(月)~2021年1月1日(金・祝)

本館17室:2021年2月1日(月)まで

東洋館:12月25日(金)~2021年1月1日(金・祝)

レストラン・カフェ・ミュージアムショップ情報

法隆寺宝物館1階「ホテルオークラ ガーデンテラス」およびミュージアムショップ(正門プラザのみ)は、2021年3月31日(水)まで休業いたします。何卒ご了承ください。

※東洋館レストラン「ホテルオークラレストラン ゆりの木」併設の「カフェ ゆりの木」は、当面の間、休業いたします。再開およびその他のレストラン・カフェの営業日・営業時間等の詳細は当館ウェブサイト(https://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=124)をご覧ください。

2021年2月2日(火)、本館17室リニューアルオープン

現在、展示環境改善工事中の本館17室は、2021年2月2日(火)にリニューアルオープン予定です。「保存と修理」をテーマに当館の取り組みをご紹介します展示が、より充実した内容となって新たに生まれ変わります。

東京国立博物館会員制度および

賛助会員制度改定のご案内(2021年4月1日[木])

2021年4月より会員制度および賛助会員制度を改定いたします。2020年4月の総合文化展観覧料の改定に伴い、会員の皆様に今後も当館に繰り返しご来館いただけるよう特典の見直しを行います。また、賛助会員の皆様には当館の貴重なコレクションを次世代に確実に継承するべく、財務基盤へのご支援をお願いいたします。これからも皆様に当館の活動に親しんでいただけるよう努めてまいりますので、ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。改定内容につきましては、決定し次第当館ウェブサイト等でご案内いたします。

※現在の会員制度は2021年3月31日(水)をもって申込受付を終了いたします。2021年3月31日(水)までに発行された現行制度の会員証をお持ちの方は、有効期限内は現行制度の特典を利用できます。

臨時休館に伴う会員制度の有効期限延長手続きについて

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館を実施したことに伴い、会員制度の有効期限を延長しております。

対象: 有効期限 2020年2月27日(木)~2021年3月31日(水)の「友の会」、「メンバーズプレミアムパス」、「国立博物館メンバーズパス(4館共通)」の会員証をお持ちの方

元の有効期限から臨時休館の96日間を延長いたします。有効期限延長のお手続きがお済みでない方は、**2020年12月25日(金)**までに「会員証」およびお手持の「特別展観覧券」、「総合文化展招待券」を、当館正門前会員受付窓口までお持ちください。

※正門前会員受付窓口の営業時間は開館日の9:30から閉館の30分前まで。
※開館日・開館時間が変更になる場合がございますので、当館ウェブサイトをご確認の上、ご来館ください。

賛助会寄附金の用途

賛助会員様よりご寄附いただいた浄財は、博物館の設備改修や文化財の購入、修理などの博物館事業に充てられております。寄附金の用途の一部をご紹介します。

◇文化財購入

能面の展示をさらに充実させるために購入しました。室町時代の作と見られる古面で、観世流シテ方の梅若家に伝来した貴重な作品です。

のうめん そうおんな
能面 増女

「増阿弥作/満昆(花押)/満猶(花押)」
金字銘 梅若家伝来
室町時代・15~16世紀

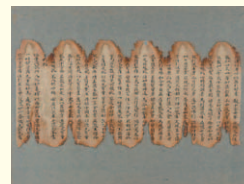


◇文化財修理

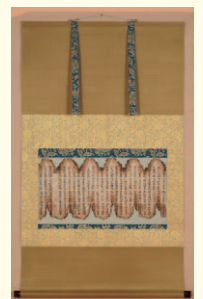
本経は寄贈された当時、額縁に入れられ、保存と活用に適さない状態だったため修理を行いました。

しまし けごんきょうだんかん
色紙華厳経断簡

せんぶくじまよつ
(泉福寺経)
平安時代・12世紀
百瀬治氏・百瀬富美子氏寄贈



修理前



修理後

他にも、多言語アプリの導入、庭園茶室の改修や東洋館の設備改修等に使用させていただいております。皆様からお寄せいただいた温かいご支援に心よりお礼申し上げます。今後もご寄附いただいた浄財は博物館事業の発展に有効利用させていただきますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

12・1・2月の休館、夜間開館情報

	12月	1月	2月
休館日	7日、14日、21日、22日、26日、27日、 28日、29日、30日、31日	1日、4日、12日、18日、25日	1日、8日、15日、22日
21:00まで夜間開館 (金・土曜日)	4日、5日、11日、12日、18日、19日、 25日	2日、6日、9日、15日、16日、22日、 23日、29日、30日	5日、6日、12日、13日、19日、20日、 26日、27日

1月7日、政府から緊急事態宣言が出されたため、当面の間、夜間開館を中止いたします。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

- 入館はオンラインでの事前予約制(日時指定券)となります。
〔入館可能時間〕9:30～12:30、12:30～16:30、
16:30～20:30(金・土のみ)

※滞在時間の制約はありません。

- 20名以上の団体料金は廃止となりました。
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、
高校生以下および18歳未満の方は無料

詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内 (2021年3月31日(水)まで)

博物館事業の充実のための支援制度です。

【主な特典】特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員
100万円(1口)・維持会員 20万円、〈個人〉プレミ
アム会員 100万円以上、特別会員 20万円・維持
会員 5万円

【申込方法】当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、
銀行振込

◆東京国立博物館会員制度 (2021年3月31日(水)まで)

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意
しております。

友の会

発行日から1年間有効 年会費:8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・
平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別
展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レ
ストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効 年会費:一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・
平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別
展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・
平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読 年会費:1,000円(1年分)

【特典】東京国立博物館ニュースを1年分ご自宅に送付いた
します。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで
100円割引。(2020年6月より年4回発行となりました。)

*次号よりご送付希望の場合、締切は2021年2月10日(水)です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします
(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは
郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

- 振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュー
ス)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、
⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メ
ールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座まで
お振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度
口座番号:00140-3-791791

- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管
してください。

- 振替手数料はお客様負担となります。

- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かか
ります。

*現在、ウェブサイトと郵便振替による受付を休止しています。再開が
決まりましたら当館ウェブサイトにてお知らせします。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使
用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適
正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

*新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館を実施したことに伴い、
各種会員制度の有効期限を延長します。詳しくは本誌14ページおよ
び当館ウェブサイトをご覧ください。

◎お問合せ:

電話 03-3822-1111(代) / FAX 03-3821-9680

総務課渉外開発担当 *月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

表紙の名品

2020年12月・2021年1・2月号

振りそで しろりんず じ ひ おうぎたちばな も よう 振袖 白綸子地檜扇橘模様

2021年1月2日(土)～2月28日(日)

本館10室

晴れの日、檜扇舞う最高級の婚礼衣装

江戸時代後期、お金持ちのお嬢様がお召しになったと思われる振袖は、婚礼用にあつらえられたものでしょう。正装に蘭菊の折枝模様を地紋に織り出した「綸子」と呼ばれ

ために顔にかざして用いる扇の一種で、檜の板を6色の糸で綴って扇にしたものです。扇の襷には「糸花」と称する飾りをつけますが、この振袖の模様には、糸花の部分に橘を

祥模様として愛されてきました。所どころに浮かぶ「源氏雲」の模様は鹿子絞りに見えますが、実は別の絹織物に鹿子絞りを施し、雲の形に切り取って切付(アップリケ)にしています。「源氏物語」を描いた絵巻物や画帖などにしばし



振袖 白綸子地檜扇橘模様
江戸時代・19世紀 野口眞造氏寄贈

るつややかな絹織物に、檜扇模様を紅染めの縫い締め絞りと豪華な金糸の刺繍で華麗に装飾します。「檜扇」はもともと宮廷に仕える女性たちが、容姿を隠す

黄色の絹糸や金糸で刺繍してあります。橘は常緑であることから、永遠の若さを意味する吉祥模様とされました。扇の模様も「末広がり」であることから、日本では縁起の良い吉

ば描かれることから「源氏雲」と称されるようになりまし。大きな檜扇を軽やかに散らし、檜扇の糸が優美に舞うデザインは、婚礼を迎える若い女性の晴れやかな心を映し出しているかのようです。よくよく細部を見てみます

と、この振袖は、正式な着物の仕立てがなされておらず、表地と裏地が引き解かれて仮縫いされた状態になっています。おそらくは、婚礼に用いられたのち、表地と裏地を引き解き、間に入れた真綿を抜いて、古着屋に出されたのでしょう。明治初期に呉服商「大彦」を立ち上げた野口彦兵衛は、古着として日本橋界隈の古着屋の軒先に吊り下げられていた「引き解き」の小袖に日本の美を見出し、他に類のない小袖コレクションを築いた、古染織蒐集の開拓者でもありました。現在、東京国立博物館には150点あまりの大彦コレクションが所蔵され、この振袖はそのご子息にご寄贈いただいたものです。(小山弓弦葉)



「駒留」と称する刺繍技法により金糸で埋め込んだ檜扇の模様がきらめきます